

海外の大学生とのオンライン交流

2024年度春学期 参加者の感想



中央大学校 (韓国)

韓国のアイドルに興味があり、韓国の方と交流してみたいと思って始めましたが、交流を深めるうちに韓国の興味深い文化を本当にたくさん知ることができました。特に日本とは異なった韓国での部活動の存在意義がとても興味深かったです。

オンライン交流会をきっかけに多くの日韓両国の先輩方と繋がることができ、日本に留学中の方とお出掛けした皆さんの思い出を作ることができました。このような活動があることをもっと多くの方に知っていただき、日韓両国の交流をもっと深めることができればいいなと思いました。(平岡菜子)



雲南大学 (中国)

雲南大学の皆さんは日本語がとても上手で楽しくお話ことができました。

交流の中で印象に残ったのは食用バラの話です。雲南大学では食用のバラを育てており、大きな花畑の一面のバラは圧巻でした。雲南大学の皆さんもお気に入りの場所だそうです。

雲南省の魅力を現地の方から聞いたのは貴重な経験だったと思います。雲南大学の皆さんは毎回 PPT を用意して下さり、写真付きで話が分かりやすかったです。私も愛知大学や岐阜県、日本の映画に関して雲南大学の皆さんに紹介できてうれしかったです。(柳田光登)



厦門大学 (中国)

今回が初のオンライン交流会ではなかったのですが、この厦門大学とのオンライン交流会は特に印象深いものとなりました。

今回が単純な愛大と厦門大との一対一の交流ではなく、厦門大学に留学している日本人学生や愛知大に留学している中国人・韓国人学生と一緒に行われた特殊なもので、今まで以上に多くの異文化交流体験および日本文化発信の機会が得られたからです。ま長期にわたって交流できたため、非常に仲良くなれた点もよかったと感じています。(田中智章)



済州漢拏大学 (韓国)

今学期も漢拏大学との交流会に参加しました。以前の交流会でも済州島のことについてたくさん教えていただきましたが、今回も新たな発見がありました。

特に印象に残っていることは、サポテンについて話をしました。私の地元はサポテンが有名で、それを使ったことです。私の地元はサポテンが有名で、それを使った際に、済州島でもサポテンが有名で、持っているというチョコレートがあることを教えていただきました。また、日本の文化についても、とても興味を持って济州島や釜山のスポットにもぜひ訪れたいです。(柴田優)



北京第二外国語学院 (中国)

私は、日本語でしか話すことができないので中国の学生と会話するのは不安でしたが、楽しく会話することができました。

また、お互いの異なる文化に気づくことができたり、食文化や土地柄など中国について知らないことが時間になりました。

この経験を通して、より中国に興味を持ち、もっとたくさん中国の学生などと交流を通して中国について知りたくなりました!(青木千花)



オンライン交流は
日本語で日本文化を発信・
理解する取り組みです。
語学に自信のない方でも
国際交流が楽しめます!

★豊橋校舎の方も
参加できます★